

千葉県文化会館開館50周年記念事業
第24回 ちば県民合唱団 定期演奏会

TOKYO2020
応援プログラム



LUDWIG VAN BEETHOVEN

ベートーヴェン



MASAAKI TSUCHIDA



YASUKO SATO



REI MATSUURA



YOJIRO OYAMA



KATSUJI MIURA

指揮／土田 政昭
ソリスト／佐藤 康子(ソプラノ)・松浦 麗(メゾ・ソプラノ)
小山 陽二郎(テノール)・三浦 克次(バス)
管 弦 楽／千葉市管弦楽団

合唱／ちば県民合唱団・あさひ少年少女合唱団
合唱指揮／福島 康晴(エキス・ノーヴォ室内合唱団・指揮者)
練習ピアニスト／柳井 和泉・塩澤 景子

演奏曲目

エルガー／行進曲 威風堂々第1番
シベリウス／交響詩 フィンランディア
ベートーヴェン／交響曲第9番ニ短調 「合唱付き」

全席自由 2,500円(税込)

プレイガイド／発売日：11月18日(土)

千葉県文化会館 ☎043-222-0201
千葉県東総文化会館 ☎0479-64-2001
インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

50th Anniversary
千葉県文化会館



平成30年 2月25日(日)
14:00開演(13:30開場)

千葉県文化会館 大ホール

※駐車台数に限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催：千葉県文化会館
(公財)千葉県文化振興財団

後援：千葉県 協力：千葉交響楽団協会・千葉県合唱連盟

PROFILE プロフィール

土田政昭 MASAOKI TSUCHIDA

武蔵野音楽大学卒業。クラリネットを千葉国夫、松代晃明両氏、指揮法を黒岩英臣氏に師事。

1974年、カーネギー・メロン大学(アメリカ)に留学。マスタークラスに入り、指揮をトーマス・ミカラク、クラリネットをルイス・ボウル、室内楽をアーサー・キュービ各氏に師事。

これまでに多くのリサイタル、ジョイント・リサイタルを開催。

日本フィル、東京シテフィ、ニューフィル千葉を指揮(ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱」他)サントリーホールにて女声合唱団120名のジョイント・コンサート、浜離宮朝日ホールにてジョイント・コンサート開催。「ティアラこうとうオープニングコンサート」、千葉市第4回「市民による第九特別演奏会」、茂原市制40周年記念「第九演奏会」、県民の日コンサートにてショスタコーヴィチ:交響曲第5番、マーラー:交響曲第1番「巨人」、千葉市管弦楽団創立20周年記念演奏会にてマーラー:交響曲第2番「復活」、25周年記念演奏会にてマーラー:交響曲第3番を、30周年記念演奏会にてリムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」を指揮。茂原市制50周年記念、モーツァルト:歌劇「魔笛」を指揮。また最近ではモーツァルト:レクイエム、ブラームス:ドイツレクイエム、ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス、ハイドン:天地創造等宗教音楽の分野も指揮。サントリーホールでの「ふるさとかうとう10周年記念特別演奏会」ではデュリュフレ:レクイエム、同じくサントリーホールでの「ふるさとかうとう15周年記念特別演奏会」ではマーラー:交響曲第2番「復活」を指揮し好評を博す。

現在、茂原交響楽団指揮者、江東フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、千葉市管弦楽団常任指揮者、幕張総合高校講師。

佐藤 康子【ソプラノ】 YASUKO SATO

千葉県出身。東京芸術大学首席卒業。同大学大学院修了。09年文化庁新進芸術家海外留学制度研修生。09年第77回日本音楽コンクール第1位、聴衆賞、増沢賞。11年トーティ・ダル・モンテ国際声楽コンクール最高位、第22回五島記念文化賞オペラ新人賞など受賞多数。

05年イタリア・スポレート歌劇場にて「オベルト」レオノーラにてイタリアデビュー。07年には、ヌオーヴォ劇場にて「ボエム」ミミ、「イル・トロヴァトーレ」レオノーラを務める。08年スペインのフランドラ劇場にて「蝶々夫人」タイトルロールを務めスペイン各地の新聞、音楽雑誌にて高い評価を受けた。同役は度々歌っておりギリシャ国立歌劇場やスロベニア国立歌劇場、イタリアはペトルツェリ劇場、パルマ王立歌劇場、フィレンツェ市立歌劇場マッジョ・ムジカーレ・フィレンティネ等好演。また17年にはアメリカシカゴオペラにてアメリカデビューを果たす等各地で公演を重ねている。

藤原歌劇団には14年同役で本公演デビューを飾り、続いて「トスカ」に主演しいずれも大絶賛を博す。今後も藤沢市民オペラ「トスカ」や藤原歌劇団「道化師」へ出演を予定している今注目の新進ソプラノ。藤原歌劇団団員。

松浦 麗【メゾ・ソプラノ】 REI MATSUURA

千葉県出身。大阪教育大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。第6回フランス音楽コンクール優秀賞受賞。第8回藤沢オペラコンクール第3位。

2006年藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」のアンニーナで本格的デビューを飾り、その後「ランスへの旅」マッドレーナ、「蝶々夫人」スズキ、「どろぼうかきさき」ピッコ、「カルメル会修道女の対話」マティルド修道女、「タンクレーディ」ロジューロ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「オリオ伯爵」イゾリエに出演を重ね、いずれも好評を博している。

新国立劇場では10年、13年に「魔笛」童子IIIに出演。また「神々の黄昏」アロスヒルデ、「エレクトラ」下女1、「サロメ」小娃、「セビリアの理髪師」ベルタ、「椿姫」アンニーナのカバーを務める。

その他、これまでに「セビリアの理髪師」ロジータ、「カルメン」タイトルロール及びメルセデス等に出演し、A.ゼッダ指揮/東京フィルハーモニー交響楽団「スターバト・マーテル」、群馬交響楽団「第九」などの他、モーツァルト「レクイエム」、「戴冠ミサ」、ヴェルディ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」でソロを務め高い評価を得ている。藤原歌劇団団員。

小山 陽二郎【テノール】 YOJIRO OYAMA

愛知県出身。愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院及び研修生修了。平成6年度愛知県新進芸術家海外研修費助成を受けイタリアに留学。カンナリカ国際声楽コンクール第2位、ブダペスト国際声楽コンクール第2位、ドニゼッティ・ロッシニの声コンクール第2位の他、数多くのコンクールにて入賞。

95年愛知県立芸術劇場「愛の妙薬」のネモリーノでデビュー後、イタリア各地で同役や「セビリアの理髪師」「ドン・パスクワーレ」「アルジュのイタリア女」「コジ・ファン・トゥッテ」「リゴレット」等に主要な役で出演する他、ハンガリー国立歌劇場のメンバーとしても数々のオペラに出演し成功を収めている。

藤原歌劇団には、文化庁舞台芸術体験事業「愛の妙薬」のネモリーノを経て、「ロメオとジュリエット」ティバルドで本公演デビュー。以降、「カルメン」ドン・ホセ及びレメンダード、「ランスへの旅」騎士・ベルフィオーレ、「ラ・トラヴィアータ」アルフレード、「ルチア」エドガルド、「夢遊病の女」エルヴィーノ、「魔笛」タミーノ、「ファルスタッフ」フェントン等で出演。

また日本オペラ協会には、「袈裟と盛遠」の渡辺ノ渡、「よさこい節」慶全で好評を博している。昭和音楽大学講師。藤原歌劇団団員。

三浦 克次【バス・バリトン】 KATSUJI MIURA

新潟県出身。明治大学法学部卒業後、東京声専音楽学校卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国際ロータリー財団奨学生、五島記念文化財団奨学生としてイタリアへ留学。E.バステリアニーニ、G.ラウリ・ヴォルピ各国際コンクールで第3位。1992年ロッシニ国際オペラコンクールに入賞し、アカデミア・ロッシニアーナで学ぶ。

藤原歌劇団には、86年「仮面舞踏会」のシルヴァーノでオペラデビュー後、「運命の力」「蝶々夫人」「ラ・トラヴィアータ」「ラ・ボエム」「どろぼうかきさき」「セビリアの理髪師」「ルチア」「マクベス」「愛の妙薬」「ロメオとジュリエット」「フィガロの結婚」「ランスへの旅」「トスカ」等、多数の作品に出演。

その他、新国立劇場「ナブッコ」「こうもり」「カルメン」「マノン・レスコー」「セヴィリアの理髪師」「トスカ」「夕鶴」等に出演。海外ではスルモーナ市立歌劇場、ローマ・ヴァッレ劇場、コモ市立劇場の公演に出演し好評を得ている。CD「日本の歌」「三浦克次ベストアルバム」好評発売中。

第2回五島記念文化賞オペラ新人賞、平成5年度村松賞、第21回ロー・オペラ賞受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。昭和音楽大学講師。千葉県在住。藤原歌劇団団員。

千葉市管弦楽団

千葉市管弦楽団は、1974年12月1日に音楽愛好家の市民によって設立され、1975年11月3日に初めての演奏会を開催。

現在、在籍団員数は約70名を数え、練習は原則的に毎週日曜日の午後を実施。

年2回の定期演奏会を活動の柱とし、常任指揮者として土田政昭氏をおき、その他の客演指揮者にも定期的に演奏会指揮および練習指導を依頼している。

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟会員、千葉交響楽団協会会員、千葉市音楽協会団体会員

ホームページ: <http://千葉市管弦楽団.com/>



ちば県民合唱団

「ちば県民合唱団」は、平成6年に合唱活動が盛んな千葉県においてその産声を上げ、以後、ヴェルディ作曲「レクイエム」、バッハ作曲「ミサ曲短調」など、大曲と呼ばれる作品に挑んでいる。

現在、県内をはじめ各地から約1,300名が登録しており、千葉県文化会館や千葉県東総文化会館を活動の拠点として練習に励んでいる。

定期演奏会に向けた練習以外にもセミナーを開催し、歌うだけでなく作品の歴史や背景を学び、曲の持つイメージを大切にしている。

本番は約250名のいきいきとした表情と壮大なステージをお楽しみください。